

覚

一 私先祖之者、元和三年より
元禄九年迄竹嶋渡海中
従

御公儀蒙御免鉄砲数

拾挺所持仕候処島渡

御制禁被仰出候ニ付当

御城^江差出置候処此度小銃

七挺御自分手より御返シ被

仰付請取申上候、此段御達申上候、以上

大谷九之平

巳十月